

平成 25 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 1 健やかな暮らしを支え、安全で快適に暮らせるはつかいち
政策目標 3 やさしい心で支え合い、健やかに暮らせるまちに
重点的取組 3 高齢者や障がいのある人など誰もが自分らしく地域で暮らせるよう支援する

担当課名	福祉保健部 社会課		
予算科目	会計	01	一般会計
	款	03	民生費
	項	01	社会福祉費
	目	01	社会福祉総務費

事業名	社会福祉一般事業	事業開始年度	平成 22 年度
	災害弱者への支援	根拠法令 条例 個別計画等	廿日市市災害時要援護者避難支援制度実施要領

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	災害時要援護者 (高齢者・障がい者 等)	地域において、平常時から災害時要援護者の所在を把握し、災害が発生するおそれがあるときに、的確かつ迅速な安否確認、避難誘導、避難支援を地域の中で受けられるような地域づくりを目指す

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市	民生委員児童委員協議会 町内会連合会、区会、総 代会などの地域団体等	・制度の周知 ・個人情報の管理 ・災害時要援護者台帳の整備 ・個別計画作成の支援

3 平成 25 年度 決算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

実施した事業の内容（活動実績）

・事業内容

災害時に何らかの避難支援を必要とする障がいのある人やひとり暮らしの高齢者などの災害時要援護者を把握するため、災害時要援護者の新規申請受付、災害時要援護者台帳への新規登録者の追加を行った。

・活動実績

《要援護者の把握について》

廿日市市民生委員児童委員協議会が9月～11月の期間に実施した在宅高齢者訪問事業を通して、事業のPR及び要援護者への登録を呼びかけた。（平成25年度 新規登録者…140人）

《災害時要援護者台帳管理システムについて》

新規登録者について、要援護者台帳へ追加した。

【歳出】

臨時職員賃金

119,625 円

コスト情報（円）

項 目		平成 24 年度決算	平成 25 年度決算①	①のうちH24から繰越	H25からH26へ繰越
財源内訳	直接事業費 A	437,621	119,625		
	国庫支出金				
	県支出金				
	借入金（市債）				
	その他(使用料など)				
	市（市税など）	437,621	119,625		
人件費(按分) B		0.82 人 7,193,040	0.11 人 933,460		
総事業費(A+B)		7,630,661	1,053,085		
単位換算	① 人口（4月1日現在）	118,000 人	117,680 人		
	市民1人当たり	65	9		
	② 要援護者	1,509 人	1,557 人		
	要援護者1人当たり	5,057	676		

到達目標

活動及び成果指標		単位	H24 実績値	H25 目標値	H25 実績値	H27 目標値	備考
活動成果	登録者数	人	1,509	2,400	1,557	3,000	
	協定支援団体数	団体	16	25	16	28	
	支援者数	人	83	1,150	94	3,500	